

国内最高齢！

ホワイトタイガーのカーラが20歳になりました

東武動物公園（東武レジャー企画株式会社、埼玉県宮代町、取締役社長：石附栄一）では、現在、6頭のホワイトタイガーを飼育しておりますが、このたび8月7日（木）にカーラ（メス）が、20歳の誕生日を迎えました。現在、国内で飼育されているホワイトタイガーとしては、最高齢となります。

2005年に群馬サファリパークで生まれたホワイトタイガーの「カーラ」は、2012年から東武動物公園で暮らしています。来園後は2013年と2015年に4頭ずつ出産し、母としても奮闘してきました。現在は体調を考慮して展示の機会が少なくなりましたが、バックヤードで穏やかな時間を過ごしています。園内で姿を見る機会は限られますが、どうかあたたかく見守っていただければと思います。



＜当園に来た時のカーラ＞



＜現在のカーラ＞

＜カーラについて＞

- ・2005年8月7日（木） 群馬サファリパークにて誕生
- ・2012年1月18日（水） 東武動物公園に引っ越し
- ・2013年3月16日（土） 4頭出産
- ・2015年1月25日（日） 4頭出産

＜ホワイトタイガーについて＞

ホワイトタイガーは、インドに生息するベンガルトラの白変種。体毛は白色もしくはクリーム色に黒の縞模様。縞模様は個体によって茶色だったり、ほとんど見えないものもあります。野生では1951年にインドでオスの子どもが発見されているのが最後とされ、今では飼育下でしか目にすることができません。全世界でも250頭あまり、国内には40頭ほどしかいません。

寿命は飼育下で16年～18年ほど。20歳は人間の100歳ほどに相当します。